



柳井市は瀬戸内海の海上交通上
要衝の地であり、商業の町として
古くから栄えてきた。古市・金屋
地区の町並みは、その荷おろし場
の中心として室町時代から街路が
作られ、これに沿って白壁の商家
が形成された。

これらの商家はそれぞれ白いし
つくい塗りで間口に比して奥行き
が長く、土蔵造りの主屋があり、
中庭を挟んで離れ座敷、倉、茶屋、
門、板塀等が細長く配列している。
敷地境には石積み水路が築かれ、
直接柳井川へ排水するようになって
おり、古い敷地割りと、かつて
の町の繁栄ぶりを現在にまで伝え
ている。

データボード[®]85

- ① 山口県柳井市古市町
- ② 面積1.7ha
- ③ 石積み水路33本、指定建造物47棟
- ⑤ 土曜夜市、日曜朝市など